

ビルオーナーの広場

3年前、東京都から「街並み景観重点地区」に指定された板橋区の常盤台一・二丁目においては、「ときわ台の景観を守る会」ときわ台まちづくり委員会」を始めたし、住民がまちづくり運動を

取締役
柳田 好史氏



氏
「現在、常盤台地区では、地元住民のまちづくり活動がますます盛んになってきています(常盤興業 柳田 氏)
「金融機関の支店統廃合による跡地を買い上げたデベロッパーが、店舗やマンションを兼ね備えた大型の複合施設を計画することが多いです。しかし、大型施設は街の景観に大きな影響を与えますから、地元住民との事

ビル建設と景観影響

常盤興業

美しい街並み守るため ガイドラインを策定中

「ときわ台まちづくり委員会」では、建物の高さを20m以下と定めるルールを折り込んだ街並みガイドラインの策定

街の景観守るべく住民活動がより盛んに

積極的に展開している。柳田氏自身が参加する「ときわ台まちづくり委員会」前協議が最重要視されるべきだと思えます(同氏)
「ときわ台」駅前では、11階建ての複合ビルを建設する再開発計画が持ち上がっているが、デベロッパーと住民の間の紛争が続いている状態だという。